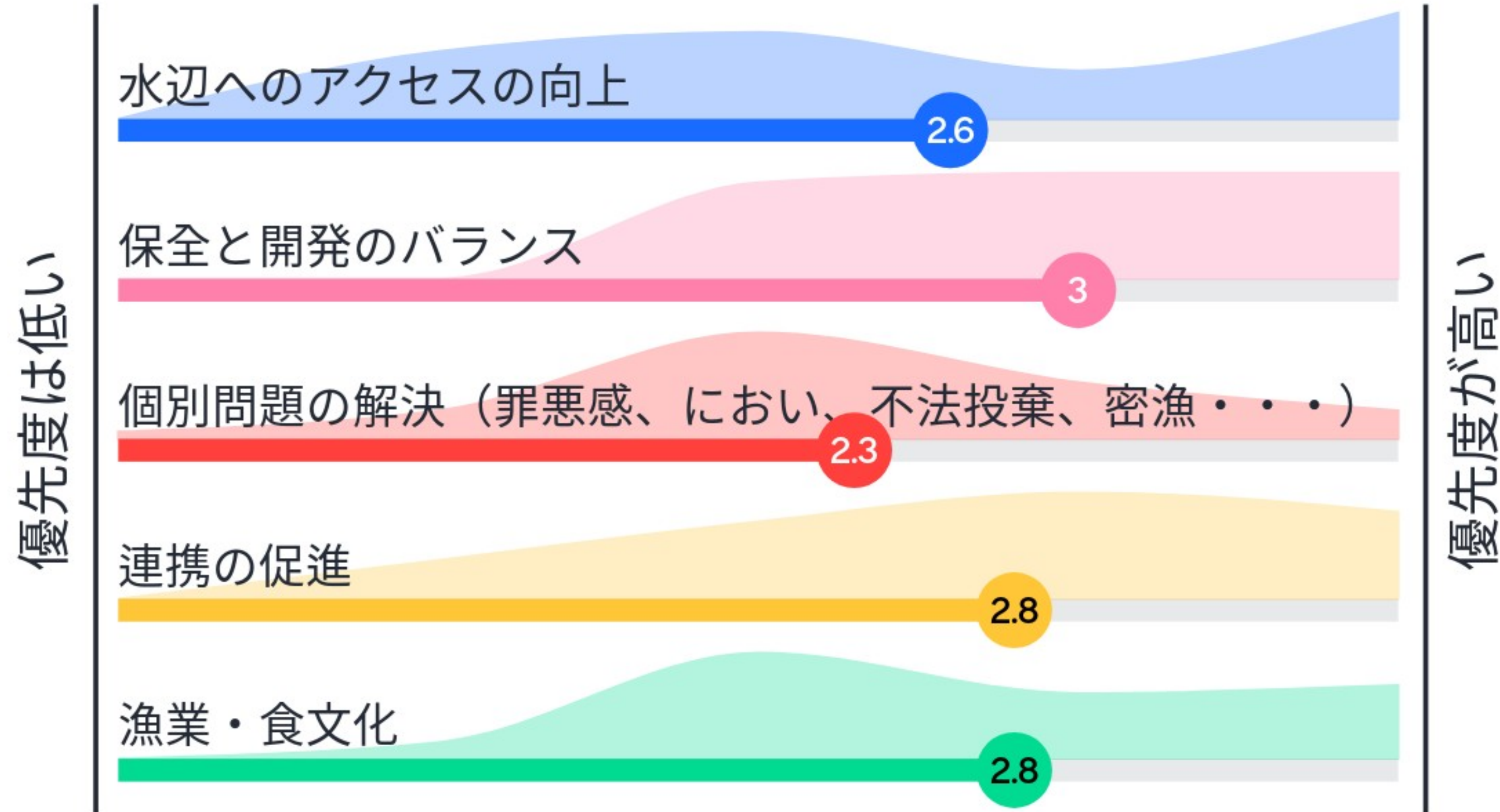


第2回 江戸前勉強会の書き込みサイト

このページは、江戸前勉強会のワークショップで、皆さまからの意見を投稿していただくために準備したものです。勉強会が始まりましたら、書き込めるページに進みます。



東京湾再生の目標として優先度の高いものは？



「保全と開発のバランス」が実現できなかつたら？

現在の生態系が維持できなくなる

多様性の減少

ヘドロの海か、何も獲れない海。保全⇒水質。開発⇒され切っている。

開発に歯止めがかからなくなるのでは

海で自由に遊べなくなる

環境の悪化か、そうでない場合には経済水準の低下。

どちらかへの一方的な流れになり、失われる産業や文化が出てくる。

開発ばかりが進めば、東京湾の自浄作用がどんどん低下していき、栄養過多な海になる。保全ばかりが進めば、日本の経済、産業、工業などが衰退する

現在起こっている通り、生態系が劣化する

「保全と開発のバランス」が実現できなかつたら？

干潟や浅場が持つ機能が発揮できなくなるだけでなく、人の海へのアクセスもなくなる。全体が悪くなるでしょう。

アオギスが絶滅したように、実は大事な生息場が開発によって無くなってしまう可能性がある。調査や研究をもっとしたほうがいいのか？

人の連携がとれなくなる

破綻

自然（人間以外）と人間の共存が困難

面白みのない世界になる

保全優先し過ぎれば、経済低迷に繋がる？開発し過ぎれば、自然の回復不可能になるのでは？

保全すべき自然の崩壊

良くも悪くも、バランスの崩れが加速し、対策を取るのがより困難になる

「保全と開発のバランス」が実現できなかつたら？

防災面での脆弱性が進む

自然環境の保全を進めた場合

これまでが開発優先だったので、これからは保全の視点を優先するくらいの変化が必要ではないでしょうか。そうでないとバランスが取れない。

在来生物生息場の構造的利用としてのバランスとすると、現況では開発しすぎのアンバランスだと思います。生息場の再生でバランス回復が必要だと思います。

生き物がいない海になる

楽しい海、身近な海でなくなる

開発ばかり進めば、人と東京湾の距離がさらに遠くなる

干潟の消失⇔海岸埋め立て（開発行為）航路が航行できなくなる⇔航路の維持浚渫を止める（保全行為）

すでに今、回復不能なところに来ているかも 例えば気候影響のために

「保全と開発のバランス」が実現できなかつたら？

夜景に罪悪感を感じるのはバランスが取れないからではないでしょうか。

開発を止めて、保全優先可能ですか。

保全しながら開発する

開発を進めすぎると現在のように自然の自己復元能力が弱まると思います保全に偏ると、社会インフラが脆弱になるのかもしれない

東京湾という身近な海と人との関わりが不足することで、より広い海（外洋）の保全と資源等の開発のバランスも保ちづらくなる

ステークホルダー間で様々な問題が起こりそうです。地震の時の巨大防潮堤建設がその一例かと思います。

「保全と開発のバランス」を実現するための障害は？

お金

経済優先. 儲け優先.

保全の共有された目標値がない

利害関係者とのコミュニケーション不足

干潟を作り直そうとしても、元々干潟があった場所が埋め立てられているので砂がすぐにさらわれてしまう潮流の早い場所ばかりがのこっていて干潟が維持できない

保全とセットでのインフラ整備がベストであるが費用面が伴わない

開発をちょっと止めて、保全優先で行って、ある程度回復したら開発を再開します

正しい情報の共有

結局、縦割り。でも縦割りが強いと繋がろうと努力する人が出るのも事実かも知れません。

「保全と開発のバランス」を実現するための障害は？

縦割り行政

何が最適バランスかについて、客観的な認識ができない。あるいは、合意形成の方法がない。合意形成の方法についての合意ができない。

目指すべきバランス（目標）が、人それぞれであること

満ち足りないと思う心が、更なる開発を追求する。人々が今ある状態を見つめ直して、満ち足りた生活ができればと思う。

既に開発過多なので、保全というより再生をすべきと思いますが、主体や予算はどうすればよいのか分かりません。

データや保全の定義を子供から大人までちゃんと知る機会（教育）が必要

開発するときは「開発者と利害関係者の連絡会議（仮）」による合意を義務づける

東京湾の自然生産（生態系サービス）に基づく潜在的価値と現況の経済的利用生産性の情報提供が不足している。自然と経済両面の価値評価アセスと現況の調査研究が必要。

理解と重要性の共通認識

「保全と開発のバランス」を実現するための障害は？

河川法のように港湾法も環境に積極的になってほしい

保全をすることの重要性が認識されていない事

保全と開発のバランスをとることは重要だが、わかりやすいインセンティブが意外とないようが気がする。

一度慣れた生活レベルや利便性を下げることに社会的合意を得ることは難しく、開発による利益を維持しながら保全を進めるのが単純に高度な課題だと思う。保全と開発を両極に置くのではなく、保全を伴った開発を模索するしかない。

海を他人事にしない、自分にかえってくと意識する